

# 鷹島の植物

渡辺定路

1971年8月の福井新聞紙上に「鷹島にナタオレノキ」の記事を見たので、若高の上坂正夫先生に一度一緒に連れて行ってほしいとお願いしておいたところ、9月19日に実現したので、その概要を報告する。ただし、ナタオレノキ林を主に調査したので全島の植物には及んでいない。

鷹島は内浦湾内に浮かぶ小島であるが、緯度(N35°29′)の割には暖地性植物が多く、原生林が保たれている。ナタオレノキ、ムサシアブミは日本における北限地である。

全島は常緑広葉樹で被われ、高木層はナタオレノキ、ヤブツバキ、タブノキ、モチノキ、エノキ等が目立ち、低木層はヤブツバキ、トベラ、草本層はムサシアブミ、オニヤブソテツ、ヤブラン、ベニシダ等が見られる。

ナタオレノキは島の東側、南側、西側の斜面に30~40本ほど見られ、頂上稜線上の大きいものは目通り二米にも達する。ムサシアブミは西側の斜面に群生している。蒼島に見られるカラタチバナは見あたらなかった。また島の西北の稜線上には蒼島と同様ヒトツバが群生している。

今回確認出来た植物の目録は次の如くである。

オシダ科 オニヤブソテツ・ベニシダ

チャセンシダ科 トラノオシダ

ウラボソ科 ヒトツバ

イネ科 タキキビ

カヤツリグサ科 イソヤマテンツキ

サトイモ科 ムサシアブミ

ツユクサ科 ツユクサ

ユリ科 ヤブラン・ジャノヒゲ

ニレ科 エノキ・ムクノキ・ケヤキ

イラクサ科 オニヤブマオ

ヒユ科 イノコズチ

ヤマゴボウ科 ヨウシュウヤマゴボウ

クスノキ科 タブノキ

ベンケイソウ科 タイトゴメ

---

トベラ科 トベラ  
バラ科 イワガサ  
センダン科 センダン  
ウルシ科 ヤマハゼ  
モチノキ科 モチノキ  
ニシキギ科 マサキ・カントウマユミ  
ムクロジ科 モクゲンジ  
ブドウ科 ナツズタ  
ツバキ科 ヤブツバキ  
グミ科 オオバグミ  
ミズキ科 アオキ  
ヤブコウジ科 ヤブコウジ  
モクセイ科 ナタオレノキ  
ナス科 イヌホウズキ・ヒヨドリジョウゴ  
アカネ科 ヘクソカズラ  
キク科 オオヨモギ・イツノギク

ナタオレノキは鷹島の横の小さい犬島の稜線上にも10本前後生育している。

羽水高等学校教諭

ナタオレノキ林の組成

方 位	W	W	W	S	S
傾 斜 角 度	40°	30°	45°	40°	45°
調 査 面 積 m <sup>2</sup>	100	200	100	200	200
第 一 層					
ナタオレノキ	1.1	2.1	3.1	4.2	1.1
ヤブツバキ	4.3		3.2	1.1	
タブノキ	2.1		2.1		4.2
ケヤキ		3.1		+ .1	
エノキ		2.1	1.1	1.1	
モクゲンジ		1.1			
モチノキ			2.1		2.2
第 二 層					
ヤブツバキ	2.1	1.1	1.1		3.3
トベラ	+ .1	1.1	1.1	1.1	2.2
ケヤキ	+ .1				
マサキ		1.1			
オオバグミ				+ .1	
タブノキ					
第 三 層					
マユミ	+ .1				
トベラ		+ .1	+ .1	2.2	+ .1
ヤブツバキ		+ .1		3.3	+ .1
マルバグミ			+ .1	+ .1	
タブノキ				+ .1	
アオキ				+ .1	
第 四 層					
トベラ	+ .1		+ .1		
イノコズチ	+ .2				
オニヤブソテツ	+ .2	+ .2	+ .2		
ヤブラン	2.2	1.2		+ .2	
ムサシアブミ	2.2		2.2		
マルバグミ	+ .1				
トラノオシダ	+ .1	+ .1			
ナツズタ		+ .2			
ベニシダ			+ .1		+ .2
スマイレ SP				+ .1	
ヘクソカズラ					+ .2